

『社員面接の重要性と面接実践からの一考察』

平成 24 年 11 月 25 日

子ども家庭教育フォーラム
湯浅 和彦

1. コンピュータ運用管理業務とは
 - ・ 365日24体制（チームによるシフト制）
 - ・ お客様先コンピュータセンターにおいて業務
 - ・ 運用管理業務の目的は安心、安全、安定運用（マシン安定稼働、障害対策、情報漏洩防止）

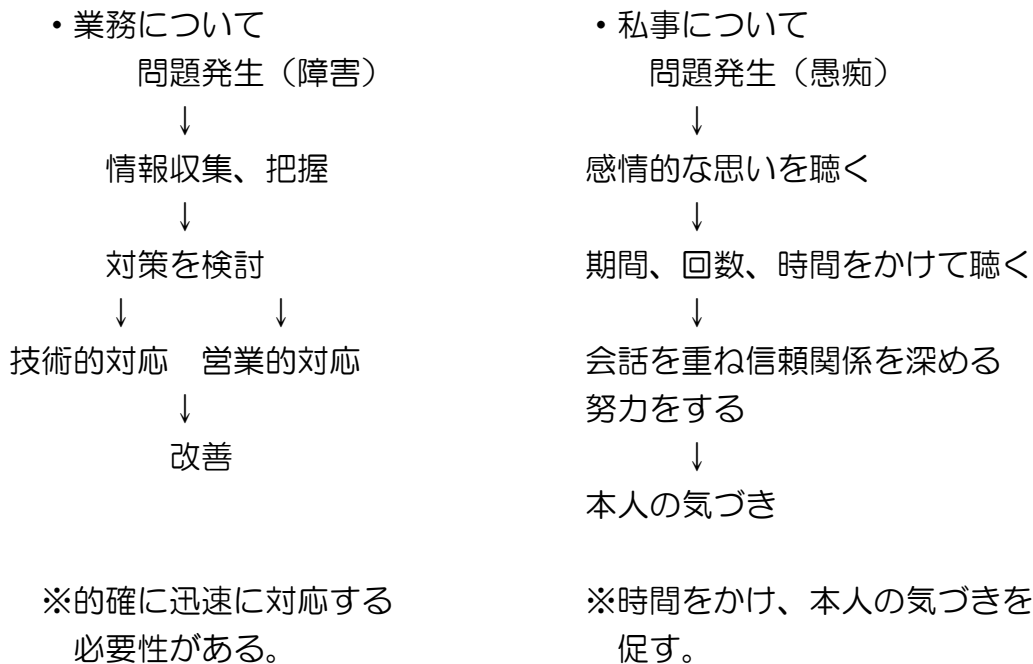
2. 限られた時間での社員管理
 - ・ マシン室はセキュリティが厳重
 - ・ 月報、週報、勤務実績表など報告書での死角
 - ・ 社員との面談の重要性

3. 面談方法、内容
 - ①「職場及び、業務の問題点」
 - ・ 作業場での問題点
 - ・ トラブル、インシデント発生状況、対応、対策
 - ・ 勤務時間、残業時間など、契約が守られているか
 - ・ お客様からの無理難題、セクハラ、パワハラ
 - ・ お客様、メンバーとの人間関係

 - ②「健康状態や生活状況」
 - ・ 休みは取れているか、睡眠は取れているか、食事は摂れているか
 - ・ 風邪はひいていないかなど身体の変調を聞く
 - ・ 顔色、声の張り、服装などをチェックする

 - ③「趣味や雑談」
 - ・ 音楽、スポーツ、映画、テレビ、天気、政治などなど
 - ・ 家族、友人、知人などの人間関係
 - ・ 愚痴（評価が下がると思い言わない人もいるが・・・。）

4. 問題解決



（社員の人数や管理者の人数、人的制約、時間的制約、質的制約
会社規模、管理体制も今後の課題である。）

5. 配慮している点

- 私的な部分については、無理に入り込まない（相手が話すのを待つ）
- 付き合いの長さ、無口、おしゃべりなど人によって質問の仕方を変える
- 即解決しなければならない事と時間をかけ解決することを見極める

6. まとめ

- 業務的、私的な事柄の双方をテーマとして面談する事が必要である。
なぜならば、今までの事例を考えると「うつ病」と診断された社員は
面談を重ねると、仕事だけの悩みでは無く、私的な悩みが必ず出てくる。
会社、お客様、家族、知人などの人間関係が円滑にコミュニケーション
出来ていると、大きな問題点は起こりにくいが、何かの要因で人間関係
の微妙なバランスが崩れると人間関係の負の連鎖の始まり、心身ともに
影響が出てくる。コミュニケーション不全を引き起こすと考えられる。
コミュニケーション不全、負の連鎖を止めるためにも、面談（会って話す
こと）は必要不可欠である。

社会、企業、家族の悩みや問題の底にあるものは人間関係であろう。
職場の人間関係とは、自分を理解してもらい、他者（同僚、部下、上司、
お客様）を理解する事が大切であり、会話からコミュニケーションは始
まるのではないのだろうか。